

ダウト ～あるカトリック学校で～ (2008)

DOUBT

メディア 映画

ジャンル ドラマ ミステリー

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 105分

初公開日 2009/03/07

公開情報 ディズニー

【キャッチコピー】

神聖なはずのカトリック学校で、
何が起こったのか？
トニー賞&ピュリッツァー賞W受賞の舞台劇、
衝撃の映画化。

【解説】

劇作家ジョン・パトリック・シャンリーが9.11の衝撃とその余波が大きな影となって人々の心を覆ってしまった世情を背景に書き上げ、2005年のトニー賞、ピュリッツァー賞をダブルで受賞した名作戯曲『ダウト 疑いをめぐる寓話』を、シャンリー自らメガフォンをとり、実力派俳優陣の豪華競演で映画化した心理ドラマ。60年代のカトリック学校を舞台に、少年に対する性的虐待の疑いを掛けられた進歩的な男性聖職者と、心証のみで彼を執拗なまでに追いつめていく厳格な女性校長の息詰まる言葉の攻防がスリリングに展開していく。主演は「ブラダを着た悪魔」のメリル・ストリープと「カポーティ」のフィリップ・シーモア・ホフマン、共演にエイミー・アダムス、ヴィオラ・デイヴィス。

前年のケネディ大統領の暗殺や公民権運動の高まりなど激動と変革の真っ只中にある1964年。ニューヨークのブロンクスにあるカトリック学校でも、厳格な校長シスター・アロイシアスに対し、進歩的で生徒の人望も篤いフリン神父はより開かれた校風にしていくべきとの持論を展開していた。そんなある日、新人教師のシスター・ジェームズは学校で唯一の黒人生徒ドナルドを呼び出したフリン神父の不可解な行動に不審を抱きシスター・アロイシアスに相談する。シスター・アロイシアスは2人が“不適切な関係”にあるのではと疑い、フリン神父を厳しく問い詰める。一方シスター・ジェームズのほうはきっぱりと否定したフリン神父の説明に納得し、反対になおも頑迷にフリン神父への疑惑を深めていくシスター・アロイシアスの態度にこそ違和感を覚え始めるが…。

【クレジット】

監督	ジョン・パトリック・シャンリー	John Patrick Shanley
製作	スコット・ルーディン	Scott Rudin
	マーク・ロイバル	Mark Roybal
製作総指揮	セリア・コスタス	Celia Costas
原作戯曲	ジョン・パトリック・シャンリー	John Patrick Shanley
脚本	ジョン・パトリック・シャンリー	John Patrick Shanley
撮影	ロジャー・ディーキンス	Roger Deakins
プロダクションデザイン	デヴィッド・グロップマン	David Gropman

『ダウト 疑いをめぐる寓話』

衣装デザイン	アン・ロス	Ann Roth	
編集	ディラン・ティチェナー	Dylan Tichenor	
音楽	ハワード・ショア	Howard Shore	
出演	メリル・ストリープ	Meryl Streep	シスター・アロ イシアス
	フィリップ・シーモア・ホフマン	Philip Seymour Hoffman	フリン神父
	エイミー・アダムス	Amy Adams	シスター・ジェ イムズ
	ヴィオラ・デイヴィス	Viola Davis	ミラー夫人
	アリス・ドラモンド	Alice Drummond	
	オードリー・ニナン	Audrie Neenan	
	スーザン・ブロンマート	Susan Blommaert	
	キャリー・プレストン	Carrie Preston	
	ジョン・コステロー	John Costelloe	
	ロイド・クレイ・ブラウン	Lloyd Clay Brown	
	ジョセフ・フォスター二世	Joseph Foster II	
	ブリジット・ミーガン・クラーク	Bridget Megan Clark	